

# 朝ドラ（「花子とアン」・「マッサン」）で学ぶ英語

森 貞\*

## A Report on the Teaching of English through Asadora (“Morning Drama”)

Sadashi MORI

Asadora (“morning drama”) is a common name of *Renzoku Terebi Shōsetsu* (“serial TV novel”), which is a Japanese serial TV drama program aired on NHK. Asadoras have been popular among Japanese people, especially the elderly. *Hanako to An* (“Hanako and Anne”) and *Massan* are the 90th and the 91st Asadoras, respectively. Both of them have many scenes where the characters speak English. For that reason, I used them as English teaching materials at public lectures open to the local community. This paper reports on the teaching of English through Asadora, including the results of the questionnaire conducted to the participants and the handouts used in the lectures.

Keywords : *Hanako to An*, *Massan*, public lecture, questionnaire, handout

### 1. はじめに

筆者は、平成24年から平成27年の4年間、福井県大学連携リーグ連携企画講座（後述）の講師を務めたが、毎回、どのような内容の講義を提供すればいいか頭を悩ませていた。特に、平成25年に実施した講義に対する以下の意見（受講者アンケート）を読んで、一般向けの講義の難しさを痛感した。

(1-1) 難しい。もっと解りやすくして欲しい。言語学者を育てるのではないので。(60代・男性)

そんな時、NHK朝の連続テレビ小説（以降、朝ドラ）で、台詞の多くに英語が用いられるドラマが放送されることを知った。そして、講座の受講者の多くが一般市民であること、朝ドラは視聴者が多いことの2点を考慮し、講義の題材として朝ドラを利用することを思いついた。

本稿の構成は以下のとおりである。2節では、筆者が関わった福井県大学連携リーグ連携企画講座について簡単に紹介する。3節、4節では、それぞれ、平成26年度、平成27年度に実施した講義について紹介する。5節はまとめである。なお、付録として、各講義において実際に使

用した配布資料（ハンドアウト）を収録する。

### 2. 福井県大学連携リーグ連携企画講座

福井県大学連携リーグは、教育・研究のレベルの向上、人材育成を目的として、平成19年に、県内8つの高等教育機関が参加する形で発足した。その活動の一環として、平成21年度より連携企画講座が開催されるようになった（一般向けの講座は平成27年度で終了）。

筆者が担当した講座の概要（募集パンフレットより抜粋）を以下に示す。

#### (2-1) 平成24年度大学連携リーグ連携企画講座

【イギリス文学・文化を味わう】（全5回）

「イギリス」という国は、常に世界中の多くの人々を魅了して止みません。皆様もこの国に様々なイメージをお持ちのことでしょう。このテーマでは、放送大学の井口篤先生を始め4人の講師陣が、イギリス文学そして文化の世界に皆様を御案内致します。講座を通して、皆様もイギリスの魅力の一端に触れてみませんか。

今夏のオリンピック開催もあり、今改めてイギリスが

脚光を浴びています。皆様にとって、本講座が、イギリス文学そして文化への興味や関心を深め、新たな発見につながる、いわば「知の冒険」のきっかけになることを、心から願っております。

・講座名 「ビートルズの楽曲に見るイギリスらしさ」

・担当教員 福井工業高等専門学校 准教授 森 貞

・概要 (第4回)

本講座では、ビートルズの楽曲(歌詞・音楽)の分析をとおして、英国人の文化生活および英国人氣質[Britishness]を浮き彫りにするとともに、1990年代以降のブリット・ポップ・グループの楽曲と1960年代の英国ポピュラー音楽の類似性を指摘し、「古き良き時代」への回帰の根底には、音楽による国民的アイデンティティーの復権が大きく関わっていることを論じる。

・日時 平成24年11月22日(木) 18:30~20:00

・会場 アオッサ6F、福井市地域交流プラザ研修室607

(2-2) 平成25年度大学連携リーグ連携企画講座

【英語とイギリスを深く知ろう】(全4回)

平成23年度以降、「福井県大学連携リーグ連携企画講座」において、イギリス文学に関する講座が開講されています。3年目となる本年度の講座では、英語さらには日本語の、言葉としての魅力に触れる講座も、新たに開講されています。

福井県内で研究教育活動に従事する、4人の講師陣が、「ことば」や「文学」の世界に皆様をご案内いたします。本講座の主目的は、人文社会科学系の、いわゆる教養講座を通して、社会人を始めとした、幅広い福井県民層に、英語による文学と文化の世界に興味を持っていただくことです。本講座受講により、皆様も英語やイギリスの魅力の一端に触れてみませんか。

・講座名 「洋楽歌詞の和訳を通して知る『英語らしさ』『日本語らしさ』」

・担当教員 福井工業高等専門学校 准教授 森 貞

・概要 (第1回)

認知言語学では、認知モードの違いが『英語らしさ』『日本語らしさ』を生み出すと考えられています。英語を「日本語らしく」和訳したり、日本語を「英語らしく」英訳したりするコツについては、いろいろなところで論じられていますが、本講座では、認知モードと日英語の

関連を概観した後に、洋楽(特にBritish Rock)の英語歌詞の和訳を通して、『英語らしさ』『日本語らしさ』を浮き彫りにします。英語の歌詞を「日本語らしい」日本語に直すとともに、メロディーラインにのる日本語歌詞を作り上げることで、日英語の音韻上の特徴にも触れつつ、最後には、全員で、日本語歌詞を歌い上げます。

・日時 平成25年11月7日(木) 18:30~20:00

・会場 アオッサ6F、福井市地域交流プラザ研修室607

(2-3) 平成26年度大学連携リーグ連携企画講座

【「イングリッシュ」を深く知ろう】(全7回)

平成23年度にイギリス文学に関する講座を開講して以来、昨年度は英語学関連の講座等も開講しながら、徐々に見通せる地平を広げようと努めて参りました。今年度は更にイギリスの歴史と制度を国際比較の中で考える講座やアメリカ文化に関する講座等も新たに開講し、福井県民の皆様に、「英語に関するもの」=「イングリッシュ」に、より幅広く接していただくことを目指しております。

English(英語)、American culture(アメリカ文化)、Englishness(イギリスらしさ)等々、様々な「イングリッシュ」をご堪能ください。本講座が皆様の、グローバル社会の中で必要とされる語学力・異文化理解力を養う一助となれば幸いです。我々講師陣とともに、「イングリッシュ」の奥深さと魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

・講座名 『「花子とアン」で学ぶ英語』

・担当教員 福井工業高等専門学校 教授 森 貞

・概要 (第4回)

NHK朝の連続テレビ小説『花子とアン』では、英語が頻繁に使われています。本講座では、ブラックバーン校長の卒業生に対するスピーチを始めとして、ドラマで使われた印象深い英語台詞を味わうとともに、スコット先生お気に入りのThe Water is Wideを歌います。

また、花(子)のモデルとなった村岡花子の生涯に触れると共に、村岡花子が翻訳した代表作「王子と乞食」「赤毛のアン」等の日本語訳と原文を比較し、児童文学作品の翻訳の妙味を味わいます。

・日時 平成26年11月21日(金) 18:30~20:00

・会場 アオッサ6F、福井市地域交流プラザ研修室607

(2-4) 平成27年度大学連携リーグ連携企画講座

## 【イングリッシュに親しむ】（全6回）

連携企画講座の本シリーズは平成23年度にイギリス文学関連の講座が開講されて以来、「イングリッシュ」をキーワードとして文学のみならず、語学、文化、社会といった人文社会科学に関する幅広い内容の講座を提供してまいりました。本年度も『嵐が丘』に関する講座を始め、NHKで放映された『マッサン』と『ダウン・アビー』を題材にした言語・文化論、第二言語習得論と英語教育、比喩をテーマとした言語論、翻訳を通して考察する社会文化論など福井県民の皆様に興味を持っていただけるようなテーマを揃えました。講師陣とともに「イングリッシュ」の世界に浸り、英語、英文学、英語圏文化・社会により一層の親しみを感じていただければと思います。

・講座名 『マッサン』で学ぶ英語

・担当教員 福井工業高等専門学校 教授 森 貞

・概要（第2回）

NHK朝の連続テレビ小説『マッサン』（平成26年度後期）では、英語が頻繁に使われています。本講座では、ヒロインのエリーが「日本ではウィスキー作りは無理だ」と主張するスコットランドの貿易商と激論を交わすシーンを始めとして、数々の印象深い英語台詞を味わいます。また、劇中で歌われたThe Water is Wide（エリーのお気に入り）の歌で『花子とアン』のスコット先生もお気に入りだった歌）、Auld Lang Syne（蛍の光）等のスコットランド民謡の歌詞を味わいつつ、実際に歌唱します。「麦の唄」（『マッサン』の主題歌）に関しては、日本語歌詞の英訳を通して、英語の「英語らしさ」、日本語の「日本語らしさ」に触れるとともに、オリジナル歌詞および「歌える」英語翻訳歌詞を歌唱します。

・日時 平成27年10月9日（金）18:30～20:00

・会場 アオッサ6F、福井市地域交流プラザ研修室607

## 3. 『花子とアン』で学ぶ英語

『花子とアン』は平成26年度上半期（平成26年3月31日～9月27日）に放送されたNHK朝の連続テレビ小説である。『赤毛のアン』の翻訳者である村岡花子の半生を原案としたドラマであり、英語の台詞が多く使われて

いる。このドラマの制作発表を知り、連携企画講座の題材に利用しようと考えていたので全放送分を録画した。

毎回、講義に使えるような箇所をチェックし、必要に応じて、英文台詞（および日本語訳）をパソコンに入力し、資料の作成を行った。放送終了後（9月27日）から講義予定日（11月21日）までの期間に、どのような構成にすれば受講者が興味関心を持続して1時間半の講義を受講してもらえるかを念頭に置きながら、講義構成を決定し、配布資料（付録1）を作成した。

当日は、以下に示す順番で講義を行った。

- (3-1) 1. 「花子とアン」名場面集（18:30～19:00）  
 2. The Water Is Wide（19:00～19:10）  
 3. 修和女学校における英語教授法（19:10～19:20）  
 4. 「花子とアン」に見る『赤毛のアン』へのオマージュ（19:20～19:35）  
 5. 村岡花子訳『赤毛のアン』の謎（19:35～19:45）  
 6. 「にじいろ」（「花子とアン」の主題歌）（19:45～20:00）

(3-1-1) では、①ブラックバーン校長が教室で生徒を前にして自分宛の手紙を朗読するシーン、②ブラックバーン校長が修和女学校の卒業式でスピーチするシーン、③ブラックバーン校長が花子に別れを告げに来たシーン、④スコット先生が『赤毛のアン』を花子に託すシーンの英語+日本語訳をスクリーンに映しながら、各シーンの音声（英語）に耳を傾けてもらった。(3-1-2) では、英語歌詞の一部を全員で合唱し、その後、筆者が作成した「歌える」日本語歌詞を披露し、独唱した。(3-1-3) では、修和女学校において実践されていた2つの教授法—①英文の「唱和・暗記」+パターンプラクティス（文型練習）、②英文の「書写」—を紹介し、その有効性について解説した。(3-1-4) では、「花子とアン」におけるいくつかのエピソード、例えば、①「花子と呼んでくりよ!」、②石盤事件、③葡萄酒騒動がそれぞれ、『赤毛のアン』におけるエピソードのオマージュになっていることを原作の英文とその日本語訳を用いて解説した。(3-1-5) では、村岡花子訳の『赤毛のアン』における翻訳の謎について、諸説を披露し、受講者の何人かにそれらに対する意見を述べてもらった。(3-1-6) にお

いては、主題歌の「にじいろ」の英訳を披露し、日英翻訳のコツについて簡単に解説するとともに、講義の締めくくりとして、同曲（日本語歌詞）を声高らかに全員で合唱した。

講義後の授業アンケート（講義終了直後に福井県総務部大学・私学振興課職員が受講者にアンケート用紙を配布し、同日回収した）の結果は以下のとおりである。

(3-2) 平成26年アンケート結果（福井県総務部大学・私学振興課集計）

・受講者：27名（男15名、女12名）（学生2名、一般25名）

・アンケート回収数：24

・性別：男性12名 女性11名 未回答1名

・年代：

10代 1(4%) 20代 1(4%) 30代 1(4%)

50代 5(21%) 60代 9(38%) 70代 6(25%)

未回答 1(4%)

・職業（身分）：

大学生1 放送大学生1 会社員2 公務員・教員3

自営業1 主婦5 その他8 未回答3

・理解度：

十分理解できた13(54%) だいたい理解できた9(38%)

理解できなかった0(0%) 未回答2(8%)

・自由意見：

○とても興味深い講義だった。赤毛のアンの謎、また、赤毛のアンと花子とアンとの対比などが知れて、自分で考える機会になってよかった。(10代・女性)

○時間いっぱい、歌あり、十分な説明も分かりやすく「花子とアン」をさらに見、聞、読みたいになりました。楽しく講座を聞くことができ大変良かった。(60代・女性)

○懐かしい「花子とアン」名場面を再聴できてよかったです。シーンの中で英語が気になっていたのも、それが文字で確認できてよかったです。歌の題名もはっきりわかったので、今度カラオケで練習してみたいです。(50代・女性)

○音響をフルに活用した楽しい講座であった。講師の熱唱、なかなか良かったですよ。(50代・男性)

○楽しく学べて大変良かったです。わかりやすく指導していただき、テキストもわかりやすく良かったです。花子訳の謎も知れてよかったです。どうもありがとうございました。(50代・男性)

○英語の授業も歌で表現すると楽しいですね。楽しかった。私もこびつと拝聴しました。(70代・女性)

○英語教育に対する先生の意気込みがひしひしと伝わりました。日本語＝外国語を変換するということの難しさも理解できました。久しぶりに面白く知識が増した感じです。ありがとうございました。(70代・女性)

○確かに歌好きな先生で楽しかったです。(30代・女性)

○英文の中に所々空所（単語）を入れると、もっと文書にも興味や集中力がつく。講師の方が、歌を歌いたいことが良く分かった。（悪いことではない）主題歌の日本語のアクセント（語の切り方）が、昔の日本語とは全く異なっていることに気付いた。ありがとうございました。面白かった。(60代・男性)

○資料がていねいでよくわかりました。もう少し英語の歌と一緒に歌いたかったです。(60代・女性)

○今までの朝のドラマの中でこの「花子とアン」が一番好きでした。テロップで訳が出ていましたが、英語が全部は聞き取れませんでした。今日とてもよく理解できました。先生の歌もとてもすてきでした。楽しく勉強させていただきました。比較も面白かったです。ありがとうございました。(60代・女性)

#### 4. 『マッサン』で学ぶ英語

『マッサン』は平成26年度下半期（平成26年9月29日～平成27年3月28日）に放送されたNHK朝の連続テレビ小説である。国産初のウィスキー製造を目指し、ウィスキー作りに生涯を捧げたニッカウヰスキー創業者の竹鶴政孝とその妻リタの半生を原案としたドラマであり、ヒロインのエリー役に、朝ドラ初の外国人、シャーロット・ケイト・フォックスが起用されたこともあり、英語台詞がふんだんに使われている。『花子とアン』同様に、全放送分を録画し、講義に使えるようなシーンをチェックしながら、適宜、英文（および日本語訳）をパソコンに入力し、夏季休暇を利用して配布資料（付録2）を作成した。

当日は、以下の順番で講義を行った。

- (4-1) 1. あらすじ紹介 (18:30～18:35)  
2. スコットランド英語 (18:35～18:40)  
3. 歌①『The Water is Wide』(18:40～18:50)

4. 英語台詞の聞き取り (18:50 ~ 19:10)
5. 歌②『Auld Lang Syne』 (19:10 ~ 19:25)
6. 宛名と宛先の書き方 (19:25 ~ 19:30)
7. 英文手紙の朗読の聞き取り (19:30 ~ 19:40)
8. マッサン宛の最期のラブレター (第150話)  
(19:40 ~ 19:50)
9. 歌③『麦の唄』 (19:50 ~ 20:00)

(4-1-1) では、『マッサン』のあらすじを紹介した。(4-1-2) では、スコットランド英語の特徴について解説した。(4-1-3) では、英語歌詞 (全部) を全員合唱した。(4-1-4) では、①エリーが貿易商のアンドリューと日本でのウィスキー作りについて激論を交わすシーン、②エリーとマッサンの娘の就職面接シーンにおける英語台詞+日本語訳をスクリーンに映し、英語音声に耳を傾けてもらった。(4-1-5) では、『Auld Lang Syne』の歌詞の日本語訳を提示し、メロディは同じでも『蛍の光』の歌詞とは全く異なることを指摘した上で、熊さんの息子の出征に際して同曲が歌われるシーン (前後を含む) の音声を流した (年配の受講生の中に涙ぐむ方が数名おられ、筆者も目頭が熱くなった)。(4-1-6) では、英文レターの宛名と宛先の書き方について解説した。(4-1-7) では、エリーが母親宛の手紙を朗読するシーンの音声に耳を傾けてもらった。(4-1-8) では、エリーのマッサンへの最期のラブレターの英文をスクリーンに映しながら、エリーの日本語での朗読の音声を流した。(4-1-9) では、主題歌の『麦の唄』の英語訳を示し、最後に、全員で同曲 (日本語歌詞) を大合唱して、講義を終了した。

講義後の授業アンケート (講義終了直後に福井県総務部大学・私学振興課職員が受講者にアンケート用紙を配布し、同日回収した) の結果を以下に示す。

(4-2) 平成27年アンケート結果 (福井県総務部大学・私学振興課集計)

- ・受講者: 18名 (男11名、女7名) (一般17名、学生1名)
- ・アンケート回収数: 17
- ・性別: 男10名 女7名
- ・年代:
 

20代	1名	40代	1名	50代	3名	60代	4名
70代	6名	80代	1名	未回答	1名		
- ・職業 (身分):

高専生1名 会社員2名 団体職員2名 自営業3名  
主婦5名 その他3名 未回答1名

- ・理解度:
  - 十分理解できた13名 (76%) だいたい理解できた4名 (24%)
  - 理解できなかった0 (0%)
- ・今回の講座への感想・意見:
  - 先生の英語やコミュニケーションに関する熱い気持ちが伝わってきました。ありがとうございました。(40代・主婦)
  - 去年の「花子とアン」に引き続き、今回は「マッサン」を題材にした非常に親しみやすい講義であった。(50代・男性・文筆家)
  - 大変おもしろかったです。(50代・男性・会社員)
  - 「マッサンで学ぶ英語」がよくわかりました。講師がこの朝ドラに深く傾倒していることがよく伝わってきました。歌も深い意味もわかり参加して良かったです。ただ、90分ではなく2時間必要かも。「時間が無い。」ということが何回も出てきて残念でした。(60代・女性・団体職員)
  - わかりやすい内容で興味深く拝聴いたしました。日本語の部分の少し短くしていただいで Auld Lang Syne が歌えると良かったです。めったにない機会ですし、感動的な場面だったのでなおさらです。日本語の歌は…? ありがとうございました。(60代・主婦)
  - ドラマを見ていた時は英語が早くてなかなか理解ができませんでした。今日は歌も含めて素晴らしい英語に出会った気がしました。ありがとうございました。(60代・主婦)
  - 歌もあって楽しかった。(60代・主婦)
  - 良かったです。面白かった。英語でドラマがより広く理解できました。テキストが素晴らしい。Teacher's karaoke song is the best, best singer. (70代・男性・団体職員)
  - とても感動的でした。連ドラを回想しながら、アツという間の1時間半でした。ありがとうございました。また、お話を聴ける機会をお願いします。(70代・男性)
  - 一回の講義では勿体ない内容でした。何回かに分けて受けたいと思いました。私にとって、テレビをこんな

風にして楽しむ方法もあるのかと新しい発見でした。

(70代・主婦)

○大変すばらしい。(80代・男性・自営業)

○「Auld Lang Syne」が「蛍の光」と全く異なる歌詞で驚きました。(年齢不明・男性)

『快説「赤毛のアン」』菱田信彦(2014)彩流社。

『東大の教室で「赤毛のアン」を読む』山本史郎(2008)東大出版会。

『現代英語学辞典』成美堂(1973)。

『現代英文法辞典』三省堂(1992)。

## 5. まとめ

本稿では、福井県大学連携リーグ連携企画講座での、朝ドラを用いた英語学習に関する講義について報告を行った。アンケート結果から受講者の多くが講義内容を好意的に受け取っていることが分かり、一定の地域貢献が果たされたものと安堵している。学校での授業と違い、幅広い年齢層の人を想定した講義内容の立案には苦勞することも多々あったが、この経験を勤務校での授業にも活かしていきたいと考えている。

## 謝 辞

福井県大学連携リーグ連携企画講座における英語関連講座は本校一般科目教室(人文社会科学系)の原口 治教授が中心となり、平成23年度から始まりました。筆者は、同教授にお誘いいただき、平成24年度から平成27年度の4年間、同講座において講師を務めることができました。本稿は同講座での講義なしには書き上げることができなかつたものであり、同講座の企画・運営にご尽力された原口教授に心より感謝申し上げる次第です。

## 引用文献

### 本文編

平成24年度福井県大学連携リーグ連携企画講座募集パンフレット。

平成25年度福井県大学連携リーグ連携企画講座募集パンフレット。

平成26年度福井県大学連携リーグ連携企画講座募集パンフレット。

平成27年度福井県大学連携リーグ連携企画講座募集パンフレット。

### 付録編

"Anne of Green Gables" Montgomery, L.M. (1983) Grosset.

『赤毛のアン』村岡花子訳 新潮文庫 74刷 (1986)。

『赤毛のアン』村岡花子訳・村岡美枝補訳 新潮文庫 (2008)

「花子とアン」で学ぶ英語

福井工業高等専門学校  
教授 森 貞

I. 本講座の構成

1. 「花子とアン」名場面集
2. The Water Is Wide
3. 修和女学校における英語教授法
4. 「花子とアン」に見る『赤毛のアン』へのオマージュ
5. 村岡花子訳『赤毛のアン』の謎
6. 「にじいろ」(「花子とアン」の主題歌)

II. 「花子とアン」名場面集

- (1) ブラックバークン校長が自分宛の手紙を朗読するシーン (第11回)

(英文は講師による書き起こし)

Dear Miss Blackburn,

親愛なるブラックバークン校長先生へ

I'm writing this letter to express how much I adore you.

私がどれくらい先生を愛しているかを申し上げるためにお便りしようと思えます

Truly I am yours forever. You are so beautiful.

私は先生に永久にお仕えしようと思っております あなたは大変美しい

Since we met, not a day has passed that I have not thought of you.

あなたに出会ってからあなたを思わなかった日は一日もありません

For all day I am thinking only of you.

私は一日中あなたのことを思っております

I'm sending to you another kiss, good night.

親愛なるあなたへ おやすみのキスを贈ります

With all my love, Hanako.

愛をこめて はなこ

- (2) ブラックバークン校長が修和女学校の卒業式でスピーチするシーン (第42回)

(英文は英語字幕から転載)

My girls!

Grow old along with me.

The best is yet to be.

私の愛する生徒たちよ!

我とともに老いよ

最上のものは、なお後に来たる

If some decades later, you look back on your time with us here

and you feel that these were the happiest days of your life, then

I must say your education will have been a failure

今から何十年後かに あなた方がこの学校生活を思い出して

あの時代が一番幸せだった 楽しかったと心の底から感じるのなら

私はこの学校の教育が失敗だったと言わなければなりません

Life must improve as it takes its course.

Your youth you spend in preparation

because the best things are never in the past, but in the future.

人生は進歩です

若い時代は準備の時であり

最上のものは過去にあるのではなく 将来にあります

I hope that you pursue life,

and hold onto your hope and your dream

until the very end of the journey.

旅路の最後まで

希望と理想を持ち続け

進んでいくものでありますように

(4) スコット先生が『赤毛のアン』を花子に託すシーン (第136回・137回)

(英文は講師による書き起こし)

(H=花子, S=Miss Scott)

H: Is the situation in Canada also difficult?

カナダも大変な状況ではないですか？

S: I'm afraid so. As well as much worse than the one. Hana, I'm afraid the time has come for me to return to Canada as well.

ええ、先の大戦よりも厳しい状況のようです はな、わたしもいよいよカナダへ帰ることになりました

H: I see. I'll miss you.

そうですね 寂しくなります

S: But before I leave Japan, I have a book to give you.

日本を離れる前に、あなたに渡したい本があります

H: Anne of Green Gables...

H: Anne of Green Gables...

S: It's a novel written by a Canadian woman, Lucy Montgomery.

ルーシー・モンゴメリというカナダの作家の作品です

During my time here this book has been a very dear friend to me.

日本にいる間、この本が心の友でした

H: I can't accept such an important book.

そんな大切な本いただけません

S: I want you to have it.

あなたに持っていてほしい

So you can always remember our friendship.

私たちの友情の記念に

S: She reminds me of you when you were little.

あなたの小さい頃を思い出しますね

H: I used to love listening to you sing "The Water is Wide."

私はスコット先生の『The Water Is Wide』が大好きだったんです

S: Oh really!?

H: Miss Scott, can we sing together?

スコット先生、一緒に歌ってください

S: Of course.

もちろん

(3) ブラックバーン校長が花子に別れを告げに来たシーン (第133回)

(英文は講師による書き起こし)

(S=Miss Scott, B= Miss Blackburn, H= 花子)

S: Miss Blackburn will go home to Canada soon. So she wanted to say good-bye to you.

ブラックバーン校長はカナダに帰国なさいます はなにお別れを言いに

B: I'm getting older.

私ももうおばあさんですから

H: I'm going to miss you.

さみしくなります

B: Now, Hana

H: Yes?

B: In the future, I don't know what will happen between our two countries, but what I do know is (that) we will be friends forever.

この先 国と国はどうなるかわかりませんが ただひとつ 私たちは永遠に友達です

Wherever I may be, I will be wishing for your happiness with all of my heart. Your

translations now are symbols of the friendship our two countries share.

私はどこにいても あなたたちの幸せを心から祈っています あなたの翻訳は二つの国の友情のシンボルです

H: Miss Blackburn, your words are always in here. "The best things are never in the past, but in the future."

ブラックバーン校長のお言葉はいつも私のここにありす「最上のは過去ではなく将来にある」

B: Please keep this dream of mine alive. Love and peace for everyone in the country.

あなたが私の夢を引き継いでください この国の人々に愛と平和を



Ⅲ. The Water Is Wide  
(日本語歌詞は講師によるオリジナル)

- H&S : The water is wide. この海は広すぎて  
I cannot get over (=over) 私には渡れません  
And neither have I wings to fly. 大空を舞う羽もありません  
Give me a boat that will carry two, どうか二人が乗れる小舟をください  
And both shall row My love and I 二人で漕いでゆきます 愛する人と私で  
S : At that time, I would sing the song every night. And think of my love back in Canada.  
あの頃はカナダにいた恋人を思って歌っていた  
But he was killed during the last war  
でもその彼も先の大戦で戦死しました  
S : Thank you, Hana  
ありがとう、はな  
When I think back on these last days here in Japan, my memories will be truly happy  
ones.  
最後にとても素敵な思い出ができました  
H : Me, too.  
こちらこそ  
S : Hana, one day there will be peace again.  
いつかきつと平和が訪れます  
At that time, please share this book with the girls of Japan.  
その時 あなたの手で この本を日本の少女たちに  
H : When peace comes, I promise to translate this book.  
約束します 平和が訪れたらこの本を翻訳して  
Then many people will be able to read it.  
たくさんの人に読んでもらいます  
S : Thank you  
ありがとう。  
Good by, Hana.  
さようなら はな  
H : We'll meet again.  
またお会いしましょう  
S : Gokigenyo.  
H : ごきげんよう

- \*The water is wide, I cannot cross over. 広すぎて 渡れない  
And Neither have I wings to fly. 飛んでいく 翼 (はね) もない  
Give me a boat, that can carry two, 二人乗る 小舟あれば  
And both shall row, my love and I. 力あわせ 漕いで (い) くのに  
Now love is gentle and love is kind 愛する この気持ち  
The sweetest flower when first it's new 続くと 思って (い) た  
but love grows old and waxes cold 朝露の ごとくに  
and fades away like morning dew この愛も 終わった  
There is a ship and she sails the sea 人生に 漕ぎ出す  
She's loaded deep as deep can be さまざまな 想い胸に  
But not as deep as the love I'm in 愛こそが すべてと  
I know not how I sink or swim 信じて 生きてく  
\*Repeat  
And both shall row, my love and I.  
O love is handsome and love is fine 愛に焦がれ 焦がされ  
And love's a jewel when it is new 輝く 愛求め  
but love grows old and waxes cold それでも 叶わぬ  
And fades away like morning dew. あなたへの この想い

## IV. 修和女学校における英語教授法

1. 英文の「唱和・暗記」+パターンブランクテイス (文型練習)  
 ドラマでは、教師が黒板よりも大きい掛け軸を教室の前面に掲げ、そこに書かれた50の英文を生徒全員に唱和させていた。また、暗記させた英文を基に文型練習も行っていた。

掛け軸の英文

- 1 : I get up at six o'clock. (私は6時に起きます。)  
 2 : I brush my teeth. (私は歯を磨きます。)  
 3 : I comb my hair. (私は髪をどきます。)  
 4 : I dress myself neatly. (自分の身だしなみをきちんと整えます。)  
 5 : I read my Bible. (私は聖書を読みます。)  
 6 : I say my prayers. (私は祈りを捧げます。)  
 7 : I go downstairs. (私は階下へおります。)  
 8 : I meet some of my classmates. (私は同級生の何人かに会います。)  
 9 : We greet each other. (私たちはお互いあいさつをします。)  
 10 : The breakfast bell rings at seven o'clock. (朝食のベルが7時に鳴ります。)  
 11 : We go to the dining room. (私たちは食堂に行きます。)  
 12 : We eat our breakfast. (私たちは朝食を食べます。)  
 13 : I go back to my room. (私は部屋に戻ります。)  
 14 : I put my room in order. (私は部屋を整えます。)  
 15 : I get my books ready for school. (私は学校へ行くため本を準備します。)  
 16 : I go to my classroom. (私は教室に行きます。)  
 17 : I study a little while. (私は少しの間勉強します。)  
 (以下略)

文型練習

- Miss 富山 : I get up at six o'clock. Past tense.  
 生徒達 : I got up at six o'clock.  
 Miss 富山 : Future.  
 生徒達 : I will get up at six o'clock.  
 Miss 富山 : 安東さん。ちがう！ Future tense. (第9回)

2. 英文の「書写」

英文を書きさせる教授法。ドラマでは、寮の部屋で先輩が後輩に、英語指導として洋書の原文をそのまま書き写させていた。

## V. 「花子とアン」に見る『赤毛のアン』へのオマージュ

(英文は *Anne of Green Gables* (Montgomery, L.M. (1988) Grosset.) より転載)  
 (日本語訳は『赤毛のアン』村岡花子訳 新潮文庫 74刷 (1986) より転載)

(1) 「花子と呼んでくりよ！」

【川に水汲みに行っている時に、男の子たちがやがやがやってきて、ハナに向かって「貧乏！」「はなたれ」と口々に言う。「なんとか言え、はな」という言葉に、ハナは「はなじゃねえ、おらのことを花子と呼んでくりよ」と答える。】

'Oh, I'm not ashamed of it,' explained Anne, 'only I like Cordelia better. I've always imagined that my name was Cordelia - at least, I always have of late years. When I was young I used to imagine it was Gerldine, but I like Cordelia better now. But if you call me Anne, please call me Anne spelled with an e.'  
 'What difference does it make how it's spelled?' asked Marilla with another rusty smile as she picked up the teapot.

'Oh, it makes such a difference. It looks so much nicer. When you hear a name pronounced can't you always see it in your mind, just as if it was printed out? I can; and A-N-N looks dreadful, but A-N-N-E looks so much more distinguished. If you'll only call me Anne spelled with an e I shall try to reconcile myself to not being called Cordelia.'

「あら、恥ずかしがりゃしないわ」とアンは叫んだ。「ただ、コーディアのほうがいいと好きなだけよ。あたし、いつも自分の名前はコーディアだって、想像してきたの——ずっと前小さい時分にはジェラルデンっていう名前のもりにしてたんですけど、いまではコーディアのほうが好きになりました。アンという名を呼ぶんでしたら、eのついたつづりのアンで呼んでください。」

「字なんか、どうなふうにつづつたって、たいしたちがいはないじゃないの？」

さびついたような微笑がふたたびマリラの顔へ出てきた。

「あら、大ちがいだわ。そのほうがずっとすてきに見えるのですもの。名前を聞くと、すぐ目の前に、まるで印刷されたみたいに、その名前がうかんできてこないこと？ あたしはそうだわ。だから、Annはひどく感じがわるいけれど、Anneのほうはずっと上品に見えるわ。小母さんが、おわりにeの字のついたアンとよんでくださるなら、コーディアと呼ばれなくても、がまんするわ。」(第3章)

## (2) 石盤事件

【ハナは見事に本を読んだ。先生は一週間でよく読めるようになってしまったとほめた。それをよく思わないタケシたちは授業中にふざけていて先生から怒られた。その腹いせに、タケシはハナがおぶっていた赤ん坊の髪の毛を引っ張った。赤ん坊は火がついたように泣き、先生は「誰だ？赤ん坊を泣かせたのは？」と言う。「朝市君でござす」とタケシが答える。ハナは自分のすぐ後ろの席に座っている朝市がやったと思い、朝市が「違う」と言う前にハナは自分の石盤で朝市の頭をかち殴り、石版が割れる。】

Gilbert Blythe wasn't used to putting himself out to make a girl look at him and meeting with failure. She should look at him, that red-haired Shirley girl with the little pointed chin and big eyes that weren't like the eyes of any other girl in Avonlea school.

Gilbert reached across the aisle, picked up the end of Anne's long red braid, held it out at arm's length, and said in a piercing whisper:

'Carrots! Carrots!'

Then Anne looked at him with a vengeance!

She did more than look. She sprang to her feet, her bright fancies fallen into careless ruin. She flashed one indignant glance at Gilbert from eyes whose angry sparkle was swiftly quenched in equally angry tears.

'You mean, hateful boy! She exclaimed passionately. 'How dare you!'

And then - Thwack! Anne had brought her slate down on Gilbert's head and cracked it - slate, not head - clear across.

ギルバート・アライスは、女の子を自分のほうに向かせることで苦勞したこともなかったし、いわんや失敗したことなんかなかった。どうしてもこっちに向かせてやるぞ。あの小さなものがった顎をして、学校じゅうのどの女の子も持っていないような大きな目をしている、赤毛のシャーリーとかいう女の子を！

ギルバートは通路ごとに手をのばしてアンの長い赤い髪の毛のはしをとらえ、腕をのばしたまま、低い声ではつきり聞かせるように、「にんじん！ にんじん！」と言った。

すると効果てきめん、アンは彼のほうを見た。見ただけでなく、とびあがった。輝かしい空想は無残にくずれおち、怒りにもえた目でギルバートをにらみつけたが、たちまちその目にはくやし涙があふれてきた。

「卑怯な、いやな奴！よくもそんなまねをしたわね。」とアンは、激しくなじた。そして一バシンと自分の石盤をギルバートの頭にうちおろして砕いてしまった——頭ではない、石盤を真っ二つにしたのである。(第15章)

## (3) 葡萄酒騒動

【連子の部屋でぶどうの葉と言われて、グラスの液体(葡萄酒)を飲んだハナは、甲府の懐かしい香りを美味しさに、もう一杯、もう一杯、飲んではしまい、いい気持ちになって、寄宿舎の中庭で大騒ぎをし、校長から謹慎処分を言い渡される(退学処分は免れる。)]

'Mrs Lynde was up to see Mrs Barry today and Mrs Barry was in an awful state,' she wailed. 'She says that I set Dianna drunk Saturday and sent her home in a disgraced condition. And she says I must be a thoroughly bad, wicked little girl and she's never, never going to let Diana play with me again. Oh, Marilla, I'm just overcome with woe.' Marilla stared in black amazement.

'Set Diana drunk!' she said when she found her voice. 'Anne, are you or Mrs Barry crazy? What on earth did you give her?'

'Not a thing but raspberry cordial,' sobbed Anne. 'I never thought raspberry cordial would set people drunk, Marilla - not even if they drank three big tumblerfuls as Diana did. Oh, it sounds so - so - like Mrs Thomas's husband! But I didn't mean to set her drunk.' 'Drunk fiddlesticks!' said Marilla, marching to the sitting room pantry. There on the shelf was a bottle which she at once recognized as one containing some of her three-year-old home-made currant wine, for which she was celebrated in Avonlea, although certain of the stricter sort, Mrs Barry among them, disapproved strongly of it. And at the same time Marilla recollected that she had put the bottle of raspberry cordial down in the cellar instead of in the pantry as she had told Anne.

「リンドの小母さんがきょう、バーリーの小母さんのところへ行ったら、バーリーの小母さん、ひどくおこってたんですって」アンはわめいた。「そしてあしたが、土曜日にダイアナを酔っぱらわせてふまじめしごくなかつこうで帰ってよこしたって言ってたんですって。そしてあしたはまたたくわい、いけない子だから、もうけつして二度とダイアナと遊ばせないつもりだって言っただけですって。ああ、マリラ、あたい嘆きにうちのめされてしまったわ」

マリラは呆然とした。「ダイアナを酔っぱらわせたって?」ようやく口がきけるようになるとマリラは言った。「アン、あんたか、バーリーの奥さんが、いつたいどっちかおかしくなつたと言うのかい? ダイアナになにを飲ませたのだね?」「いちご水だけだわ」アンはすずり泣いた。「いちご水が酔うもんだなんて、考えたこともなかったわ、マリラ——たえダイアナのように大きなコップに三杯も飲んだって。ああ、まるでまるで——トマスの小母さんの旦那さんみたいに聞こえるわ。でもダイアナを酔わせる気はなかつたんでしょ?」「酔わせるが聞いてあきれ!」マリラは居間の戸棚のところへ行った。棚のびんを一目見るとマリラはそれが手製の三年たつた葡萄酒であることを知った。葡萄酒を作る腕前ではマリラはアヴォンリーでも有名だった。もつともやかましい連中の中にはそれに強く反対する者もあり、バーリー夫人もその仲間だった。同時にマリラは、いちご水のびんは、アンに話した戸棚ではなく、地下室に置いてあったことを思い出した。(第16章)

品を訳していたのは戦時中です。彼女の周囲には、戦火の中で親しい者を失いながら、その悲しみを抑えつづけるしかなかった女性が多かったです。村岡は、マッシュウを失ったマリラとアンが激しく嘆き悲しんだり、糸人がいないとはいえない思いを口に出して伝えあっていたりするさまを、「はしたない」、あるいは日本の読者に読ませるのに「ふさわしくない」と感じたのではないうか」  
(『快読「赤毛のアン」』 菱田信彦 2014, 彩流社)

#### Ⅶ. 「にしいろ」(「花子とアン」の主題歌)

(英訳は <http://ayakamusic.tumblr.com/page/45> より転載)

＊これからはじまるあなたの物語 ずっと長く道は続くよ にじいろの雨降り注げば 空は高鳴る	Your story is about to begin The path continues long and forever When the rainbow-colored rain pours down The sky will beat
眩しい笑顔の奥に 悲しい音がする 寄りそって 今があつて こんなにも愛おしい	At the back of that bright smile There's a sad sound Leaning against each other We have the present And it's this lovely
手を繋げば温かいこと 嫌いになれば一人になってくこと ひとつひとつがあなたになる 道は続くよ	That it's warm when you hold hands That if you hate, you'll end up alone Each and every thing becomes a part of you The path continues
風が運ぶ希望の種 光が夢の蕾になる	The wind carries the seeds of hope The light becomes the buds of dreams
なくしたものを数えて 瞳閉ざすよりも あるものを数えた方が 瞳輝きだす	Instead of counting the things you lost And covering your eyes If you count the things you have Your eyes will start to shine
あなたが笑えば誰かも笑うこと 乗り越えれば強くなること ひとつひとつがあなたになる 道は続くよ La la la la la la la la...	That if you laugh, someone will laugh too That if you overcome it, you'll get stronger Each and every thing becomes a part of you The path continues

#### Ⅵ. 村岡花子訳『赤毛のアン』の謎

謎：第37章でマッシュウが心臓発作で死んでしまう。その晩、残されたマリラはアンに、いかに自分がアンを愛しているかを語る。このシーンを、村岡花子は訳していない。なぜなのか？

「あなたにはわたしがいるし、わたしにはあなたがいるもの。ふたりで力を合わせていくんだよ、アン。あなたがいないければ—あなたがこの家に来てくれて—わたしはまったく途方にくれていたよ。おお、アン、わたしはあなたにはたいそう厳しくして、きつくあたってきたかもしれないね。だからといって、マッシュウほどはあなたのことを愛してはいなかったんだなんて思わないでくれよ。今なら言えそうだから言っておきたいんだよ。こういう時でなければ素直に思っていることを言うなんてはなかなかできないからね。あなたのことは血と肉をわけた実の子のようによく思っているよ。あなたがグリーンゲイブルズにに来てからというもの、あなたはわたしの喜びであり心の慰めなんだよ」  
(『赤毛のアン』村岡花子訳・村岡美枝補訳 新潮文庫平成20年2月25日 p.508)

“その声を聞きつけたマリラが部屋にはいって来た。二人はともに泣き、心から語りあい、慰めあつた。二日たつてから、マッシュウ・グスパートは彼が耕した畑やたいせつに育てた果樹園を通して運ばれていった。”  
(『赤毛のアン』村岡花子訳 新潮文庫昭和61年4月30日 74刷 P.376)

#### ○山本史郎の考え

“マリラにあたえられている特徴は、児童文学であまりにおなじみの「こわいおばさん」という「フラット」な類型(タイプ)にびつたりとはまりすぎている” “このような内容の告白が「おっかないおばさん」という類型(タイプ)がしゃべる言葉にはそぐわない” “村岡花子はとても言語感覚にすぐれていて、物語の構成法への人なみすぐれた理解があったので、このような違和感をとても敏感に察知したのだ。そして悩みに悩んだあげく、『赤毛のアン』の第37章を、あのようにはしよった形にまとめあげたのではなろうか。”

(『東大の教室で「赤毛のアン」を読む』山本史郎 2008, 東京大学出版会)

#### ○菱田信彦の考え

“村岡は Anne of Green Gables を「翻訳」してはいないということです。彼女は『赤毛のアン』という作品を「創作」しているのです。” “彼女は自分がとらえたそのイメージが日本の読者にはつきりと伝わるようにと、そのことだけを念頭において訳文を作っています。そのため村岡は、英文を正確に訳すことにあまりこだわらず、ここを入れると自然な文章にならないうと思ふところを切り捨ててしまします。結果として読者に伝わるものが大切なのであって、原文をどう訳すかは、極端にいえばどうでもいいのです。新しい時代の日本の若者のために良質な物語を求めていた村岡が、それにふさわしい作品を「創作」しようとしていたこと。それが彼女の「読み」がほかの誰とも異なる最大の理由ではないでしょうか。” “日本人は、概して、親族を失った時でさえ、その悲しみを表に出さないことを美德とすることがあります。とくに女性にそれを求める傾向があり、葬儀の際にとりみだり泣いたりしている女性に批判的な目を向けるメンタリティーが存在するように思います。ましてや、村岡がこの作

『マッサン』で学ぶ英語

福井工業高等専門学校  
教授 森 貞

I. はじめに

1. あらすじ
2. スコットランド英語
3. 歌① 『The Water is Wide』
4. 英語台詞の聞き取り (第50話、第144話)
5. 歌② 『Auld Lang Syne』
6. 宛名と宛先の書き方
7. 英文手紙の朗読の聞き取り (第133話、第136話、第138話、第139話、第140話、第141話、第142話、第143話、第144話)
8. マッサン宛の最終のラブレター (第150話)
9. 歌③ 『妻の唄』

II. 『マッサン』のあらすじ

大正時代、ウイスキーづくり (いわゆるジャパニーズ・ウイスキー) に情熱を燃やす造り酒屋の跡取り息子 (龜山政春) が、単身スコットランドへ渡る。そこで出会ったスコットランド人の女性 (エリー) と半ば駆け落ちの状態で国際結婚するところから物語が始まる。エリーは日本とスコットランドの違いに戸惑いつつも、異なる文化を学びながら成長していく。本作のモデルとなる人物は、ニッカウイスキーの創業者である竹鶴政孝とその妻リタ (ジェシー・ロベール・カウン) で、タイトルの「マッサン」はリタが政孝のことをこう呼んだことにちなんでいる。(出典：ウィキペディア)

*Massan* (Japanese: マッサン) is a Japanese television drama series, the 91st Asadora (morning drama) broadcast daily on NHK from September 29, 2014, until March 28, 2015. *Massan* is based on the lives of Masataka Taketsuru and his wife Jessie Roberta "Rita" Cowan, a Scotswoman Taketsuru met while studying abroad. American actress Charlotte Kate Fox stars as Ellie Kameyama opposite Japanese actor Tetsuji Tamayama as Masaharu Kameyama in a fictionalized account of Rita's travels to Japan and Taketsuru's attempts to begin the Nikka Whisky Distilling company. It is the first time that NHK's Asadora series has featured a non-Japanese actor in a lead role. (出典：Wikipedia)

III. スコットランド英語

◎スコットランド方言 (1) →スコットランド英語 (2)

(Scottish dialect) (Scottish English)

\* "World Englishes" の考え方の反映か？

(1) 現代英語学辞典 (成美堂) 1978

(2) 現代英文法辞典 (三省堂) 1992

○発音

・[r] 巻き舌の r, r 音アクセント (rhotic accent)

17世紀の標準英語では母音の後にくる[r]はその母音に吸収されたが、スコットランド

英語ではそれが吸収されないうで残っている。

・単母音 長短での区別がない

pull - pool, not - nought, bad-balm

○指示代名詞

this—that—you

○否定の縮約形 -na

can't (canna) don't (dinna) won't (winna)

○前置詞 be → a-

before (afore), behind (ahind), beside (aside), beyond (ayond), between (atween)

(出典：現代英語学辞典 (成美堂) 1978)

## IV. The Water Is Wide

(日本語訳は講師によるオリジナル)

\*The water is wide, I can't cross over  
And Neither have I wings to fly  
Give me a boat that can carry two  
And both shall row, my love and I

川幅が広くて 私には渡れません  
飛んで渡る翼もありません  
二人を運んでくれるボートをください  
愛する人と二人で漕いでいきます

Oh, love is gentle and love is kind  
The sweetest flower when first it's new  
But love grows old and waxes cold  
And fades away like morning dew

そう、愛は優しく、私を包み込み  
愛の始まりは最も甘美な花のよう  
けれど愛にも老いが訪れ、そして冷たくなり  
朝露のように消えていくのです

There is a ship and she sails the sea  
She's loaded deep as deep can be  
But not as deep as the love I'm in  
I know not how I sink or swim

船が海を渡っていきます  
荷を積んで深く 沈みそうなくらい深く  
でも私の愛の深さには及びません  
だからこの一か八かの恋の行方はわかりません

\*繰り返し

## V. 英語台詞

(英文は You tube-English sub より転載)

## ①第50話

鶴居：エリーちゃん、I've been missing you.

(会いたかったで～)

エリー：すごい。

鶴居：本当に！

エリー：本当に！ I've missed you too.

(私も会いたかったです)

鶴居：エリーちゃん、こちら、スコットランドの貿易商でアンドリュースさんや。

エリー：Mr. Andrews, it's nice to meet you. My name is Ellie Kameyama.

I'm from Scotland myself.

(初めまして、亀山エリーです 私もスコットランド出身です)

アンドリュース：Ah, then I'm pleased to meet you, Thank you for your time today.

(今日はよろしくお願ひします)

エリー：Oh, the pleasure's all mine. You don't mind if I'd take notes, do you?

(こちらこそよろしくお願ひします！メモをとってもよろしいですか？)

アンドリュース：No! No! (どうぞ)

鶴居：エリーちゃん。ミスター・アンドリュース。

さっそく聞かせてくれ。日本に来てくれるウイスキーのプロフェッショナルは見つかったんか。

エリー：Mr. Andrews, have you found someone able to come to Japan?

(日本に来られるウイスキーのプロフェッショナルは見つかりましたか？)

アンドリュース：Well, after receiving your letter, I visited many distilleries and companies in the whiskey business. I talked to different people and listened to what they had to say.

(たくさんのウイスキー工場とウイスキーを扱っている会社を回り色んな人に意見を聞いてきました)

エリー：あなたの手紙を受け取り、たくさんのウイスキー工場、ウイスキーを扱っている会社を回り色んな人に意見を聞いてきました。

鶴居：おおきに。恩に切ります。ほんで。

アンドリュース：Well, before telling you the result, are you seriously considering making whiskey here in Japan?

(結果を報告する前にお尋ねします あなたは本気で日本でウイスキーをつくらうと思っていますか？)

エリー：まず、あなたは本気で日本でウイスキー作らうと思っていますか。

鶴居：いざさら、何言うてますねん。もちろんです。ほんで。

アンドリュース：I'm sorry to say, but I couldn't find anyone in the business willing to send someone here. (残念ながら一人も見つかりませんでした)

エリー：残念ながら一人も見つかりませんでした。

鶴居：なんでや！

エリー：Why?

アンドリュース：Every person I spoke to in the whiskey business said the same thing I did.

（すべてのウイスキー事業者は私と同じ意見です）

エリー：ウイスキー事業者は、私…私と同じ意見です。

鴨居：どんな意見や！

アンドリュース：Scotch whiskey was born in Scotland. It's a Scottish drink. The idea of someone making it here in Japan is absolutely absurd.

（スコッチウイスキーはスコットランドで生まれたスコットランドの酒 日本で日本人がつくることは絶対に不可能だ）

鴨居：エリーちゃん。

エリー：ううん。ウイスキーは、スコットランドのお酒だから日本で日本人がウイスキーを作ることとはできない。

鴨居：なんでや！

エリー：How can you say that?

（どうしてですか？）

アンドリュース：Well, well, Scotland and Japan - er - culturally is completely different. You know, the Japanese unfortunately are somewhat behind in comparison to the West! （スコットランドと日本では文化のレベルが違 う 残念ながら日本は我々西洋に比べてまだまだ遅れた国です）

エリー：Is that so? (そういうお考えなんですか?) スコットランドと日本では文化のレベルが違 う。残念ながら日本は我々西洋に比べてまだまだ遅れた国です。

アンドリュース：My advice to you is to forget about making whiskey in Japan altogether.

（日本でウイスキーをつくることは諦めた方がいいと思います）

エリー：日本でウイスキーを作ることは諦めたほうがいいと思います。

アンドリュース：Does he understand my suggestion?

（わかってもらえましたか？）

エリー：I don't understand your suggestion. Pardon me, Mr. Andrews, but the Japanese can absolutely make whiskey.

（わかりません 失礼ですがアンドリュースさん 日本人は必ずウイスキーをつくります）

鴨居：エリーちゃん。

エリー：The Japanese will make a whiskey that'll rival any so-called real Scotch whiskey made in Scotland.

（本場スコットランドに負けないウイスキーを日本人もつくることができます）

鴨居：何言うてんねや。

アンドリュース：Why are you so angry?

（なぜ怒るんですか？）

エリー：Please, Mr. Andrews. You cannot disrespect Japan or all its people like this.

（日本と日本人をバカにしなさい）

アンドリュース：Calm down. Let's discuss this like adults, shall we?

（落ち着いて 冷静に話し合いますよ）

鴨居：日本人にウイスキーがつくれるかどうか言うためにわざわざ寄っていただいたとはま

あ、残念な話や。エリーちゃん、訳してくれるか？

エリー：はい You came all this way to question whether or not the Japanese can make whisky. That's a shame, Mr. Andrews.

（日本人にウイスキーはつくれないと言ったためにわざわざ来ていただいたとは残念です）  
鴨居：日本人の手仕事も細やかさ奥ゆかしさ織物や陶器和菓子に日本料理わたらの国は世界のどこにも恥じない文化や伝統もてなしのこころや。日本がもし遅れるとしたらそんな日本のすばらしさを世界にまだ気づいてもらえてないこととてんな。何より残念なのはわたの大事な人探しをあなたのような無知で隔った見かたしかでへん人にお願ひしてしましたことや、いやほんまに残念な話や。

アンドリュース：You asked for my advice and I've given it to you.

（私が親切にアドバイスしているのに）

鴨居：あなたの手助けはもう要りません

エリー：Mr. Andrews, your help is no longer needed. (あなたの手助けはもういりません)

鴨居：黒さん、ミスター・アンドリュースさんお帰りや。

黒澤：Please.

アンドリュース：I heard that some time ago, a Japanese man studied how to make whisky in Scotland. I heard he put his heart and soul into it. So, Mr. Kamoi, if you insist on making your own whisky, why not look for this man? That said, once you've seen even this man isn't making whisky, I think you'll realize that making whisky in Japan is impossible.

（過去にスコットランドにウイスキー技術を学びに来た日本人がいたそうです とても熱心に勉強していったと聞きました 鴨居社長がどうしてもウイスキーづくりを諦められないならその男を探してみたらどうですか？ただ、その男も結局ウイスキーをつくらないといけないところをみるとやはり日本でつくるのは不可能だったのでしようが）

鴨居：塩まといけ。とつととスコットランド帰ってまえ。

## ② 144 話

My father made the first Japanese whisky.

私の父は日本で初めて国産のウイスキーを作った男です。

My mother met my father in Scotland

母はスコットランドで父に出会い

And for the sake of making Father's dream, she came across the oceans to Japan.

父の夢をかなえるために海を渡って日本にきました。

They taught me that "Life is an adventure."

両親は「人生は冒険だ」と教えてくれました。

And that people can love and understand each other even if they look different.

そして、たとえ肌の色、瞳の色、髪の色が違っても 人間はわかりあい、愛し合う事ができると教えてくれました。

So, I want a job that can build the bridges between people of different languages and countries. ですから私は 異なった言語を使う人と人、国と国の架け橋になれるような仕事をしたいのです。

## VII. 宛名と宛先の書き方

1. 宛名 (名前) は、first name/given name (名)、last name/family name (姓) の順に書く。
2. 日本語の「様」に当たる言葉はないので  
 1) 親しい間柄には  
 敬称はつけずにフルネームを書くのが一般的。  
 2) 親しくない相手や目上の方、ご夫婦に出す場合は  
 頭に敬称をつける。  
 2) - 1  
 敬称は、①男性なら、「Mr.」  
 ②女性なら、「Ms.」  
 ・女性で既婚者は、「Mrs.」、未婚なら、「Miss」だが、  
 既婚か未婚かを区別しない「Ms.」を書くのが無難。  
 ③夫婦には、「Mr. and Mrs.」の後に Last name あるいは夫の full name を書く  
 ④博士には「Dr.」、教授には「Prof.」をつける。
3. 宛先は、日本語の場合とは逆に番地、町、丁目、市・区、都道府県、郵便番号、国名の順に書く。

例えば、

〒100-1234

東京都千代田区電ヶ関 1 丁目 2 番 3 号

山田ビル 101 号室

山田 太郎 様の場合、

Mr. Taro Yamada

101 Yamada Bldg.

2-3 Kasumigaseki, 1 Chome

Chiyoda-ku, Tokyo 100-1234

Japan となる。

## VI. Auld Lang Syne

(日本語訳は <http://massan-massan.blogspot.net.ne.jp/> より転載)

- \*\*Should auld acquaintance be forgot,  
(old) 懐かしい友を忘れるだろうか
- And never brought to min?  
(mind) 二度と思ひ出さなくなるだろうか
- Should auld acquaintance be forgot 懐かしい友を忘れるだろうか
- And (days of) auld lang syne?  
(long) (since) 遠いあの日のことまでも
- \*For auld lang syne, my dear, 友よ 遠いあの日のために
- For auld lang syne, 遠いあの日のために
- We'll tak' a cup o' kindness yet,  
(take) (of) 変わらぬ友情に杯をあげよう
- For auld lang syne, 遠いあの日のために
- And surely you'll be your pint stoup  
(buy) (cup) さあ、君はその盃を
- And surely I'll be mine  
(buy) 僕はこの盃を
- And we'll drink a right guid willie waught  
(good) (will) (draught) 心ゆくまで友情の杯を重ねよう
- For auld lang syne 遠いあの日のために

\*Repeat

\*\*Repeat



## VIII. 英文手紙の朗読

(英文は You tube-English Sub より転載)

## ① 133 話

In Japan, they have a saying, A wonderful expression.

日本にはすばらしい言葉があります

"The good you do for others is the good you do for yourself".

『情けは人のためならず』

Life is strange.

人生は不思議です

Even now, being in this horrible situation, I am proud that I've gotten to know this country.

こんな恐ろしい状況の中で私はこの国と出会えてことを誇りに思っています

For Massan's vision of the future.

マッサンが描く未来のために

And for the sake of our hometown, everyone is pulling together.

故郷のためにみんな一丸となっています

At difficult times, the people here encourage each other.

この国の人たちはつらい時に互いに励ましあい

Sharing even the smallest of things.

わずかなものを分け合い

Helping with modesty; each action, filled with love.

助け合い、奥ゆかしく慈愛に満ちています

Mother, I would be lying if I said I wasn't afraid, but I do not regret coming to this country.

ママ怖くないと言えば嘘になるけど私はこの国に来たことを後悔していません

## ② 136 話

Mother

ママ

This long war has finally come to an end.

長く続いた戦争が終わったと聞かされました

And yet... it brings me no solace.

でもわたしには到底実感がわきません

This war has taken so much from us.

戦争はあまりにも多くの物をわたしたちから奪っていききました

Everyone seems... lost.

人々は皆 とまどい

Searching for answers.

どうすればいいか答えを探しています

There is no escape for anyone from the depths of sadness.

皆 悲しみの奥底から抜け出せません

Nor forgetting the loss of those we love.

大切な人のことを忘れることなどできません

There is only anger and sorrow.

ただ怒りと悲しみがわき上がってくるのです

What can I possibly do in a country filled with such sorrow?

この悲しみに沈んだ国でいったいわたしに何ができるのでしょうか

Mother... today was a happy day.

ママ 今日うれしいことがありました

Msassan made this estate for the factory available for everyone's use.

マッサンは工場の土地をみんなに解放しました

Seeing the smiles on people's faces made me so proud of him.

Massan's kindness and his quick decision will help many people.

今できることをすみややかに決断して人々に笑顔を取り戻したマッサンを私は誇りに思いました

Mother, everyone in Japan now is destitute, desperate for good, struggling to live.

今 日本はとても貧しい 食べていくこと 生きていくことに必死です

Yet, that will lead to our salvation.

でもそれが今の私たちには救いなのかもしれません

Everyone must live.

皆必死で生きている

And so, they will forget their sadness.

だからこそ 悲しみを忘れられる

## ③ 138 話

Mother, life is strange.

ママ 人生は不思議

Living in Japan in this most painful time,

わたしは一番つらい時代をこの国で生きて

I have seen the real strength of its people.

この国の人々の本当の強さを知りました。

I'm so grateful that my life has led me here,

わたしは日本と出会えて幸せです。

And I am filled with a deep love for the Japanese people.

わたしは日本人を愛しています。

## ④総集編 (前編)

Dear Mother  
親愛なるママへ  
I hope this finds you well.  
ママ 元氣でお暮らしますか?  
I'm sorry I haven't written in such a long time.  
長い間手紙がかけずにごめんなさい  
I have been wondering what to tell you and I'm just flown by.  
何を伝えればいいのかと迷ううち時が過ぎてしまいました  
Forgive me.  
ごめんなさい  
But Mother, I am happy.  
でもママ 私は今 幸せです  
Finally our dreams are coming true.  
やっと私たちの夢がかなおうとしているの  
So much time has passed since I left Scotland.  
故郷スコットランドを離れてからずっといふん時が流れました  
When I decided to come to Japan,  
日本を目指していたあのこと  
All I could do was hope.  
わたしには希望しかなかった  
But just as you told me,  
でもママが言ったとおり  
Living in a foreign country has had its difficulties.  
異国で生きていく大変さを身にしみで深く味わったわ  
Oh, Mother,  
ああ ママ  
There is so much I want to tell you.  
伝えたいことがたくさんあります  
About sharing my life with Massan,  
マッサンと一緒に過ごす中で味わった  
About fun times and surprises,  
楽しかったこと 驚いたこと  
As well as its struggles and grief,  
つらかったこと 悲しかったこと  
I think, I think I'll write about them all.  
全部書こう思うの  
Eh, I should explain.  
ああ, そうそう

I say "Massan"  
「マッサン」というのは  
Because "Masaharu-san" is mouthful.  
「マサハルさん」が言いにくくて  
So I gave him a nickname.  
私がつけた愛称よ  
Life is an adventure.  
人生は冒険  
And every day I spent living with my loving Massan.  
愛するマッサンと過ごした日々は  
Most certainly is an adventure.  
まさに冒険旅行だった  
Mother  
ママ  
We are so happy now.  
私たち今とても幸せよ  
And Massan's vision of making Japan's first whisky has become a reality.  
マッサンについては念願の日本初のウイスキーを誕生させたわ  
Emma is something other a tomboy just like I was and she is growing so fast.  
エマはおてんば 昔のわたしみたい 元気に育ってるわ  
To tell you the truth,  
実は  
The first Japanese whisky didn't sell as we expected.  
日本初のウイスキーは売れなかつたんですけどね  
Massan couldn't make the whisky he imagined.  
マッサンは自分の目指すウイスキーづくりができず  
And he becomes deeply troubled.  
悩みは深くなって  
These days he comes home late and I do worry.  
このごろは帰りが遅くて心配  
And I am sure more difficult times may ahead.  
これからまだまだ困難があるかもしれないけど  
But if we're all together, I know we can overcome anything.  
マッサンそしてエマと一緒に乗り越えていける気がするわ  
You know, Mother,  
ねえ ママ  
How it's a marvel how a man and a woman meet, don't you think?  
出会いって本当に不思議よね